

1 共に育ち、共に学ぶ交流及び共同学習のめざすもの

(1) 副学籍とは

副学籍とは、ノーマライゼーション()の理念に基づく教育を推進する観点から、特別支援学校に在籍する児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と一緒に学ぶ機会の拡大を図る等交流及び共同学習を進めるとともに、特別支援学校の児童生徒に対する必要な教育的支援を居住地の学校においても行うための仕組みです。

このため特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童生徒の居住地を通学区域(学区)とする小・中学校を「副学籍校」として指定します。

特別支援学校(在籍校)と副学籍校とは、児童生徒の障害の状態や教育的ニーズに基づき、交流の目的や内容、時間設定等について調整し、副学籍による交流教育の取組を進めます。

ノーマライゼーション：

障害者を特別視するのではなく、一般社会の中で、普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマルな社会であるという考え。

デンマークのバンク・ミケルセンが知的障害者の処遇に関して唱え、北欧から世界へ広まった障害者福祉の最も重要な理念。

(2) 副学籍の取組のめざすもの

特別支援学校と小・中学校の子どもが、共に“学び”共に“育つ”ことができる体制づくりを進め、仲間意識を育てます。

特別支援学校に在籍する児童生徒には、自分の暮らす地域の子どもたちとふれ合い、地域において活動する場を広げ、「社会で自立できる自信と力」を育むことをめざします。小・中学校の児童生徒には、特別支援学校に在籍する子どもたちをはじめ、障害児者に対する理解を深め、心の障壁をつくらない「心のバリアフリー」を育むことをめざします。

